



飯能ロータリークラブ会報



桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima

“世界へのプレゼントになろう”

RI会長 K.R.ラビンドラン

2570地区ガバナー 高柳 育行

第3グループ
ガバナー補佐 吉田 譲二

「ロータリーの心を実践しよう」

第2700例会 2016. 5. 18

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

天候 晴 (NO. 52-47)

会長 間邊元幸 幹事 土屋 崇

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 中里(昌)君、中里(忠)君

- ・点鐘 間邊会長
- ・ソング それでこそロータリー
- ・卓話 矢島崇行様

【入会式】

◎新入会員紹介 雨間君
 奥富 栄(おくとみさかえ)様 推薦者は矢島(巖)会員。S 31年、狭山市生まれ。S 55年、専修大学経済学部卒業、飯能信用金庫入行。S 57年、結婚し狭山市内に新居を構える。一男一女。



H 21年、飯能南支店長、
 H 24年、東飯能支店長、
 H 26年、鶴ヶ島支店長、
 H 28年2月より飯能中央支店執行役員支店長と出世コースを歩まれる。

◎奥富会員挨拶
 諸先輩のご指導を仰ぎながら奉仕活動に励みたいと思います。

◎会長よりバッジ贈呈／歓迎の言葉／誓いの言葉／額・四つのテスト・バナー・資料贈呈／幹事より会員証贈呈／所属委員会「会報・広報」

◎乾杯：橋本パスト会長
 「2700例会」記念の入会式。私が30代で会長を務めた時、入会式第1号は増島先生でした。以来40数年、RCのますますの発展、間邊年度ご苦勞様の意味も込めて乾杯！

(『春風さん』BGM)



【会長報告】

先日の親睦旅行、多くの方に参加して頂き、また、ご協力頂き楽しい旅行が出来ました。有難うございました。



【幹事報告】

旅行では親睦活動委員の皆様方、本当にご苦勞様でした。集合写真配付しました。

【委員会報告】

◎親睦活動委員会 神田(敬)君

東北への親睦旅行は天候に恵まれ、46名で楽しく行って参りました。橋本パスト会長はじめ多くの方より半強制的にお気遣いを頂きお酒もたくさん頂きました。御礼申し上げます。行かれなかった方、お土産をお持ち帰り下さい。

◎(-社)奥むさし飯能観光協会 柏木君

入会申込書を配付。一人でも多くの方のご入会をお待ちしております。よろしくお願ひします。お知り合いにもお勧めください。

◎飯能JC グレートカンパニー探求委員会 荒井委員長よりお知らせ

6/29(水)講演会「『ひとの幸せ』が先『利益』は後 なのに、利益を上げられる利他の経営」は、顧客を騙す問題が散見され、「ブラック企業」「モンスター社員」等、お互いの事を考えないような残念な言葉も聞こえてくる時代に、その解決のきっかけともなればと企画。坂本光司氏は著書に「4種類(顧客・社員・取引先・地

域社会)の人」を大事にと書かれ、塚越英弘氏はシェアNo.1 寒天メーカー副社長。お二人の対談で、化学反応による素晴らしいお話が聴けると思います。18時開演、市民会館。5/31(火)「障害者雇用のノウハウ」(飯能市共催、まるひろ7階)もよろしくお願ひします。

【出席報告】 前島出席委員長

会員数		当日		前々回修正出席率
全数	対象	出席数	出席率	
55名	6名	52名	94.55%	法定休日のため修正はありません

【M U】
5/17 (日高) 田辺君

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・旅行はお世話になりました。 小谷野君
- ・息子の話をお聞き頂き恐縮です。心配で早退したい気持です。 矢島(巖)君
- ・矢島JC理事長ようこそ。本日は卓話よろしくお願ひ致します。細田(吉)君、加藤君、山川君、大附君、新井君、細田(伴)君、島田君、杉田君、神田(康)君、神田(敏)君、吉澤君、本橋君、間邊君、和泉君、土屋(崇)君、吉田(行)君、小川君
- ・奥富様、入会おめでとうございます。 細田(伴)君、島田君、神田(敏)君、間邊君、和泉君、土屋(崇)君、吉田(行)君、小川君
- ・バッジを忘れました。 沢辺君
- ・早退 石井君

本日計 22,000円、累計額 1,075,041円。

◎25日例会当番は中山、大木会員です。

【卓話】

講師紹介 中里(忠)プログラム委員長

09年、事務局委員。10年、総務委員会委員。11年、広報委員会委員。12年、経営資質向上委員会副委員長、日本JC企業の未来デザイン委員会出向。13年、拡大特別会議総括幹事。14年、輝くJC育成委員会委員長。15年、副理事長、飯能まつり実行委員長。16年、現職。

**公益社団法人 飯能青年会議所
～2016年度の目指す運動展開とは～**

公益社団法人 飯能青年会議所
2016年度 第43代 理事長 矢島崇行様

2700例会、誠にありがとうございます。飯能青年会議所(飯能JC)の運動展開に対する多大なるご支援ご協力ご鞭撻に改めて御礼申し上げます。大先輩を前に大変恐縮ではございますが卓話をさせていただきます。[映像併用]

1973年、初代理事長・細田吉春先輩のご尽力により飯能JCはチャーターメンバー71名で創立。74年『ミニニュース飯能』発行。S50年、飯能まつり参画。80年、『はんなら』発行、社団法人格を取得。82年、スポンサーLOMとして坂戸JC(現・西入間JC)創立、本年35周年のお祝いを全力で進めています。14年、公益社団法人格を取得。現在41名の正会員で運営。

09年に入会し、さまざまな委員会で先輩に可愛がって頂きながら今に至るわけですが、13年、会員拡大の責任者になった時が大きな転換期だったと思っております。拡大という



大きな責任が生まれました。入会してくれた人がいる以上「入会して良かった」と言ってもらいたい。それ以降、人と人との繋がりを広げていく事が出来たとJCに感謝しているところです。受け身の、楽な気持ちを捨てて主体的にあらゆる事に向き合

っていく事は、自分自身を大きく成長させてくれる大切な姿勢だと学ばせて頂きました。理事長としての難関が「理事長所信表明」で、暗記して話すという過酷な修練が昨年8月でした。その中で伝えたかった事を中心に本日は話をさせて頂ければと思います。

飯能・日高で暮らす人達の繋がりをもっと深めていきたい。地域の課題にも目を向けてもっといいまちにしていくきっかけを作りたい。地域に明るい機運を作っていきたい。働き甲斐のある職場を増やしたい。事業を通して郷土愛を育ていけるようなきっかけ作りをしたい。「地元を好きになること」がまちづくりの第一歩ではないかと考えます。

「主体変容」。「JCが何をしてくれるか」と思う事から「自分がJCに何か出来ないだろうか」と考えていこう。「地域社会が何をしてくれるか」ではなく「自分が何か出来ないだろうか」…そんなふうにより主体的に地域を見て行こう。職場も同様に…。

スローガン「主体性の追求」を掲げ、「元気と笑顔溢れる未来の創造」のため、6つの委員会を設置しました(輝くJAYCEE支援/地域活性化/グレートカンパニー探求/はんなら/飯能・日高魅力発信実行/高麗郡建郡1300年祭実行)。日高市役所近くの休耕地を利用し、そこで収穫された野菜で「高麗鍋」を作って建郡祭に来られた人に振舞う計画をしています。

例会は月1回、新年通常総会。2月の講演会には県内からメンバーが集まりました。3月、パネルディスカッションには一般の方にもご来場頂き、4月、巾着田菜の花まつりには「ウォータースライダー」等で参画。

40才定年・単年度制のルールの中で、郷土を大切に思う一人の青年市民としての目線から、もっといいまちにするために、まちづくり、社会開発をJCのルールに従って進めていく事を通して、結果的にまちのみならずさまざまな気付きによって自分自身をも開発していく組織…それが「青年会議所」であり、それが先輩から言われてきた「まちづくりは人づくり」という事の意味なのではないかと思ひます。主体的にまちづくりに向き合う事を通し、RCの大先輩の皆様のように、一人一人が明日の地域社会を担っていけるだけの人材になるため精一杯修練を積む。それこそが「青年会議所」の大切な思想なのではないか。43年という歴史を紡いで来られたのも、そうした一年一年が正しかったからこそであろうと思ひます。JCの事業の歴史の断片を映像で見させて頂きながら、卓話を終了させて頂ければと思ひます。ご清聴誠に有難うございました。